

2014年3月17日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社ジェイアール東日本ビルディング

JR 神田万世橋ビル LEED-CS GOLD、LEED-CI GOLD の認証ダブル取得について

東日本旅客鉄道(株)は、昨年1月に竣工しました「JR 神田万世橋ビル」について、米国などで広く普及している環境指標である LEED-CS の「GOLD」を昨年12月に取得しました。

また、(株)ジェイアール東日本ビルディングは、同ビルの「ステーションコンファレンス万世橋」について LEED-CI の「GOLD」の認証を本年3月に取得しました。どちらも JR 東日本グループの施設としては、初めての LEED 認証取得となります。

JR 神田万世橋ビルは地球環境、地域、景観、歴史との共生をコンセプトにした、次世代の環境配慮型ビルです。JR 東日本グループは、今後も環境に配慮した施設の開発を進めていきます。

LEED : Leadership in Energy & Environmental Design の略で、米国グリーンビルディング協会(U.S. Green Building Council)によって開発・運用されている建築物(敷地利用を含む)の環境配慮基準の認証制度。

LEED-CS : LEED for Core and Shell の略で、テナントビルの躯体・外装・共用部を対象とした認証。

LEED-CI : LEED for Commercial Interiors の略で、テナント専用部の内装を対象とした認証。

今回の認証については、主に以下の環境対応が評価されています。

貸室空間を北東面に配置し、直射日光を受ける南西面にエレベータや階段などの窓面が少ない設備を配置し、建物の熱負荷を抑制。

屋上に太陽光パネルを設置し、建物の照明などに電力を利用。

屋上の緑化により、建物が受ける熱負荷を抑制。

電気自動車専用の充電設備を設置。

シャワールーム・駐輪場を設置し、エコな自転車通勤ライフをサポート。

工事期間中の建設廃棄物リサイクルを促進。

水利用の高効率化(中水利用・節水型衛生器具)、高効率給湯機器、LED 照明を採用。



< JR 神田万世橋ビル外観 >



< 屋上緑化 >
建物が受ける熱負荷を抑制



< コンファレンスキッチンルーム >
節水型衛生器具、高効率給湯機器、
LED ダウンライトを採用

JR 神田万世橋ビル概要

所在地:東京都千代田区神田須田町 1-25

竣工:2013年1月

延床面積:約 28,500 m²

建物階数:地上 20 階地下 2 階

施設構成:オフィス 5~20 階、コンファレンス 3~4 階、子育て支援施設 2 階

駐車場(87 台)・駐輪場(54 台)・バイク駐輪場(6 台) 地下 1・2 階

事業主:東日本旅客鉄道株式会社

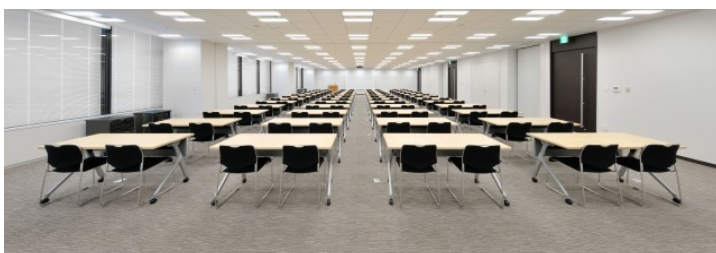
運営会社:株式会社ジェイアール東日本ビルディング

グリーンビルアドバイザー業務:レンドリース・ジャパン株式会社



ステーションコンファレンス万世橋概要

JR 神田万世橋ビル 3~4 階でジェイアール東日本ビルディングが運営する、東京・池袋に続く 3 施設目のステーションコンファレンス(貸会議室)。43 m²から最大 273 m²の会議室の他、キッチンルームなどの特徴ある貸室やカフェラウンジを組み合わせ、多種多様な用途に対応する施設となっています。



<貸室>

照明設備 - 省エネ性能に優れた LED 照明を一括調光システムにより制御



<スタジオルーム>

フローリングに 100%FSC 認証木材 使用
環境に配慮し適切な森林管理のもとに
生産された認証木材